

平成29年度 第2回 伊達市立伊達中学校学校運営協議会

1 日 時 平成29年10月5日(火) 18:30～20:00

2 会 場 伊達市立伊達中学校 会議室

3 出席者 委員8名+事務局3名

4 協議内容

(1) いじめ調査より(6月末)

校長より説明 *すぐに確認(躊躇なき認知と素早い対応を基本)

道では年2回の実施だが、本校では4回予定。

質問 → いじめがないという中で、「見た」という人の人数は?

記名性なので、本当はもっと多いのでは?

先に匿名でやってから記名でやった方がいいのでは?

回答 → アンケートで全てわかるわけではなく、日常の生徒との交流の中で対応することもあり、拾えるものは拾っていく。やり方、回数等は考えていきたい。

質問 → このアンケート用紙の内容は道教委からのものなのか?

回答 → 文科省からのものである。

質問 → 携帯・スマホの中学校の所持率が増えていっていると思うのだが、学校ではどの程度把握しているのか。この分野でのいじめが増えているので、この辺の学校の管理は?

回答 → 家庭でのルール作り等もあると思うが、学校としてはできる限りで家庭にお願いをしている。

学校としても、ケータイ教室等、外部の方を招いて指導をしている。

質問 → 機器も多種多様になってきているので、学校としても所持率を把握した方がいいのでは?

学校運営協議会という名前を使ってアンケートを実施しては?

回答 → 保護者に対してのアンケートとなると思うが、アンケート案を作り実施していく。(全体で確認)

(2) 長欠状況について

9月当初の人数について校長より説明。

全欠に近い場合もある。30日以上には達していないが、心配な生徒は複数いる。

特定の地域にたくさんという偏りがある訳ではない。

質問 → 1年生は小学校からか、中学校に入学してきてからか?

回答 → 引き続いての生徒もいるが、新たにという生徒もいる。

質問 → 欠席の理由は?

回答 → 特定の理由がある生徒もいれば、理由が不明な生徒もいる。

質問 → 個々に要因を解析して対応しているのですよね?

回答 → そうしている。

質問 → 保護者との連携を図っているのですよね？

回答 → それが十分にできない場合もあるので、その場合は関係機関や人の協力を得て行う場合もある。

(3) 中1ギャップ問題未然防止について

校長より説明

今年度、中1ギャップ未然防止事業の学校にあたっている。

現在までも、4小学校と連携をしながら取組を行ってきた経緯がある。

学力面からの連携、生活面からの連携、特別支援の面からの連携を図っている。

生徒自身がどうギャップを感じているのか、小6がどんな不安を感じているのか、説明会を実施したり、アンケートを取ったりしながら実態を把握し対策していく予定。

質問 → 検討委員会の組織は？

回答 → 伊達中が事務局となり、伊達中校区の4小学校で組織している。

構成メンバーは、校長、教頭、主幹教諭、教務主任、生徒指導主事、特別支援教育コーディネーターとなっている。

(4) 種々の危機対応について

校長より説明

ミサイルの対応、雷の対応、不審者の対応、今後、暴風雪への対応等がある。

本校の課題としては、スクールバスへの対応の難しさがある。

場合によっては連絡網等を通じて、各家庭に連絡していく。

質問 → バス通学の生徒で外で待っている時はどうやって情報を得るのか？

回答 → サイレン・放送が聞こえたらすぐ家に戻る。家庭で迎えに来てもらう等。事前の指導が必要。

(5) 生徒指導の現状について *無記録・非公開を確認。

校長より報告

(6) その他 特になし

5 今後の予定

12月の実施

以上